

JR 西日本 アーバンネットワークの 変化が続く主要 11 路線を紹介!!

皆さんこんにちは。旅行・鉄道研究部、
路線研究課です。さて、今回は、長年走
り続けていた大阪環状線や阪和線の
103 系が引退するなど、近年新型車両
の投入が相次いだ、アーバンネットワ
ークについて調べました。アーバンネット
ワークの中でも主要 11 路線を中心に、
車両や路線概要などを述べていきたく
と思います。

▼奈良線の 103 系。他線区の 103 系が引退す
るなか、現在でも活躍が続いている。

文 路線研究課
写真 路線研究課



▼上：大阪環状線の新型車両 323 系 左下：置き換えられた 103 系





大阪環状線

Osaka loop Line

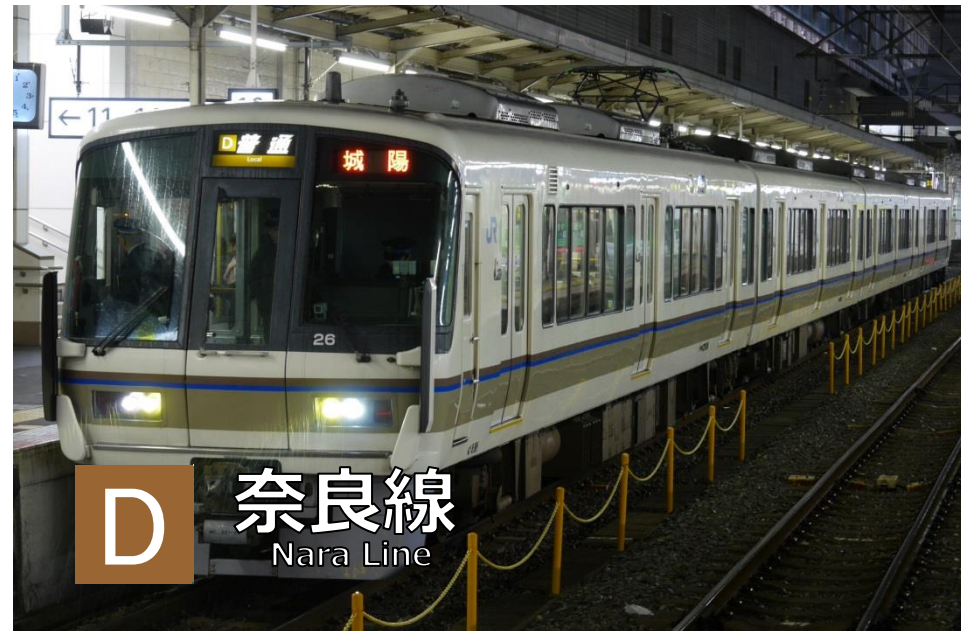


ゆめ咲線

Yumesaki Line

大阪環状線は、大阪～天王寺～大阪間（21.7km）の大阪周辺を環状運転している路線で、各駅に停車し環状する列車や、大阪近郊の阪和線の関空・紀州路快速、特急や大和路線の大和路快速、ゆめ咲線も乗り入れ、非常に便利な路線です。大阪環状線では全ての駅に発車メロディが導入されています。大阪環状線の車両は 2016 年にデビューした 323 系や 201 系となっています。

ゆめ咲線は、大阪環状線の西九条～桜島を結ぶ路線で、正式名称は「桜島線」といいます。この路線の途中駅に USJ の最寄駅「ユニバーサルシティ駅」があります。また、途中駅の安治川口駅の横には貨物ヤードがあります。この路線の主力車両は 323 系・201 系です。



奈良線

Nara Line

奈良線は、京都～奈良間の都市間輸送などを担う路線です。全区間に渡って近鉄京都線と対抗していますが、本数は近鉄の方が多いものの、快速電車の増発、スピードアップなどを図って近鉄に対抗しています。沿線には、京都市の伏見稲荷大社・宇治市の平等院など観光地が多く、観光路線などの利用が多い路線ですが、前述の通り、通勤・通学路線として都市間輸送の路線としての役割もある路線です。奈良線には、みやこ路快速・快速・区間快速・普通の四種別があり、みやこ路快速は京都駅～奈良駅間を最速で結ぶ優等種別となっています。



琵琶湖線は、JR 東海道本線のうち京都駅～米原駅間、JR 北陸本線のうち米原駅～長浜駅間(総距離 75.4km)の路線です。琵琶湖の東側を走っており、滋賀県内の動脈として機能しています。琵琶湖線のうち京都～草津間は複々線になっており、この区間の内側線(普通電車などが走る線路)も含めて、京都駅～米原駅間は最高速度が 130km/h になっています。また、朝夕の一部時間帯に、草津駅から草津線に直通して柘植まで向かう電車が設定されています。

JR 京都線は、JR 東海道本線のうち京都駅～大阪駅間(42.8km)の路線です。隣接する琵琶湖線、JR 神戸線と一体的に運行されており、湖西線・草津線への直通電車も設定されています。JR 京都線は、主に新快速・快速・普通・特急(はるか・サンダーバードなど)・貨物列車が走っています。通勤型種別で最速の新快速は、京都線内 17 駅中京都・高槻・新大阪・大阪の 4 駅のみ停車となっており、特に京都駅～高槻駅間の 21.6km は無停車となっています。新快速は大阪駅～京都駅間では日中 1 時間に 4 本運転されています。

JR 神戸線は、JR 東海道本線のうち大阪駅～神戸駅間、JR 山陽本線のうち神戸駅～姫路駅間(87.9km)の路線で、大阪駅～三ノ宮駅間を阪急神戸本線と阪神本線、三ノ宮駅～姫路駅間を阪急神戸高速線・阪神神戸高速線・山陽電鉄本線と並走しており、路線の全区間にわたって私鉄路線と競合しています。JR 神戸線は JR 京都線とほぼ同じく新快速・快速・普通・特急(はまかぜ・スーパーはくとなど)・貨物列車が走っています。新快速は大阪・尼崎・芦屋・三ノ宮・神戸・明石・西明石・加古川・姫路に停車し、大阪駅～三ノ宮 30.6km を最短 20 分・大阪駅～姫路 87.9km を最短 60 分で結びます。



B 湖西線

Kosei Line

湖西線は、山科駅～近江塩津駅間(74.1km)の路線で、名前の通り琵琶湖の西側を走っています。起点は山科駅ですが、隣の京都駅まですべての列車が直通しており、さらに特急・新快速は大阪方面へと直通しています。路線のほとんどの区間が高架なので、琵琶湖をよく見ることができます。



F おおさか東線

Osaka Higashi Line

写真は和歌山線・奈良線で撮影

おおさか東線は、駅のほとんどが大阪市中心部から延びる各鉄道会社と連絡している路線です。2008年に久宝寺から放出までの区間が開業しましたが、2019年に放出から新大阪駅までの区間が開業する予定となっています。また、大和路線・学研都市線・JR東西線と直通することが多く、奈良駅からこの路線を経由して尼崎駅まで行く直通快速が毎日運行されています。直通快速の運用は、2012年から207系・321系の共通運用となっています。2011年までは、3ドア車も運用されていましたが、ホームドア設置に伴う車両ドア数の統一のため、現在は4ドア車だけの運用となっています。



JR 東西線・学研都市線は尼崎駅～京橋駅～木津駅間の路線で学研都市線は片町線の愛称です。JR 東西線（尼崎駅～京橋駅間）内の大阪天満宮駅、北新地駅、京橋駅ではホームドアが設置されています。学研都市線の松井山手駅は金沢から延伸される北陸新幹線の接続駅になる予定です。京橋駅～長尾駅間では快速運転を行い、学研都市線・おおさか東線・大和路線を通る直通快速も運転されています。そして、一部列車は JR 宝塚線、JR 神戸線などに直通運転をしています。



大和路線は、関西本線の電化区間である JR 難波駅～加茂駅間の愛称です。沿線の地形は様々で、JR 難波駅～柏原駅間は大阪平野の市街地や住宅地の中、柏原駅～王寺駅間は生駒山地と金剛山地の間に挟まれた大和川沿いの溪谷、王寺駅～木津駅間は奈良盆地の田園地帯、木津駅～加茂駅間は^{かさぎ}笠置山地の^{さんろくぶ}山麓部を走っているのが特徴です。大和路線では、大阪環状線から運転されている大和路快速や快速・区間快速・直通快速・普通が運転されています。



R

阪和線

Hanwa Line

S

関西空港線

Kansai-Airport Line

阪和線は、1929年に開業し、1994年に関西空港線が開通してから、関西国際空港へのアクセスに大きく役立っています。また、和歌山駅から紀勢本線に直通することも多く、特急なども運行しています。この路線の車両は、吹田総合車両所日根野支所に配置しているアーバンネットワーク代表格の223系および225系が使用されています。天王寺駅から長滝駅(駅構内を除く)と鳳駅から東羽衣駅は近畿統括本部が、長滝駅から和歌山駅は和歌山支社が管轄しています。関西空港線は、1994年に開業した関西国際空港への連絡鉄道です。この路線は、全長3750mの世界最長のトラス橋である関西国際空港連絡橋を通ることで有名です。りんくうタウン駅から関西空港駅までの区間は、南海電気鉄道空港線と線路を共有しています。この路線では、特急「はるか」が1日30往復分運行されています。1994年9月3日までは、日根野駅から関西空港駅までの区間で普通が運行されていましたが、現在は、日根野駅から関西空港駅の区間で「シャトル」と称した各駅停車が朝と深夜のみに運行されています。



写真はともに神戸線で撮影

G

宝塚線

Takarazuka Line

宝塚線はJR福知山線の(大阪駅～篠山口駅間)の愛称です。この区間は、JR福知山線で複線の区間で、それ以外の区間は単線です。元は、大阪～新三田の区間の愛称の公募から採用されましたが、沿線自治体の要望により、大阪～篠山口の区間に変更されました。宝塚から先は山間部を多く走ります。大阪～新三田の区間は近畿統括本部が、新三田～篠山口の区間は福知山支社が管轄しています。北近畿方面への特急こうのとりをはじめ普通、快速、丹波路快速などの様々な列車が走っています。